

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



■第14回「全国こども科学映像祭」

表彰式・上映会および記念講演会を開催

(一財)日本視聴覚教育協会ほか主催による標記映像祭の表彰式・上映会および記念講演会は、平成27年12月12日(土)、つくばエキスポセンター(茨城県つくば市吾妻2-9)プラネタリウムホールにおいて開催した。当日は表彰式終了後JAXA名誉教授、的川泰宣氏を迎えて記念講演会を実施した。写真は、的川氏を囲んでの記念撮影。なお、入賞作品や詳細については、32頁を参照のこと。

協会情報

■平成28年度「第20回視聴覚教育総合全国大会・第67回放送教育研究会全国大会」合同大会(東京大会)

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会、全国放送教育研究会連盟、NHK他による標記全国大会の開催日、会場などが決まった。

〈日程〉平成28年11月18日(金)・19日(土)

〈会場〉1日目：東京都杉並区立天沼小学校/杉並区立高井戸第四小学校/杉並区立高円寺中学校/板橋区立中台中学校、2日目：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

〈内容〉○1日目：公開授業(各会場校)、○2日目：ワークショップ・研究交流、全体会(開會行事、功労者紹介、NHKプレゼンテーション、大会のまとめ)、実践発表、教材・機材展示など(予定)。

詳細は、随時下記にて更新の予定。

<http://www.javea.or.jp/soutai/index.html>

文部科学省情報

■平成27年度「第19回」文化庁メディア芸術祭受賞作品展

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において、優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術祭では、このたび、4,417の応募作品の中から受賞作品を決定した(写真)。受賞作品展は、平成28年2月3日(水)~14日(日)、国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)を中心



© Sacrebleu Productions

アニメーション部門大賞 ボリス・ラベ氏(フランス)の短編アニメーション「Rhizome」(リゾーム)

に開催される。受賞作品等、詳細は、下記を参照のこと。<http://festival.j-mediaarts.jp/>
 〈問い合わせ先〉文化庁メディア芸術祭受賞作品展インフォメーション
 TEL 03-5459-4668※9:00~20:00受付

AV情報

■ 安心ネットづくり促進協議会「2015年度研究支援（助成）」公募

安心ネットづくり促進協議会では、インターネット社会における青少年の健全な育成ならびに保護に係わる諸活動の一環として、標記助成先の公募を行う。

〈募集テーマ〉インターネット社会における青少年の健全な育成ならびに保護に資する実証的な調査及び研究（社会科学系、心理学、教育学系、医学・生理学系、動向調査系）。

〈募集対象〉国内を拠点として研究活動を行う大学・大学院等の教育・研究機関ならびに企業・各種団体等の研究者で年齢は問わない。

〈研究支援（助成）額〉1件あたり50万円を限度。
 〈締切〉平成28年1月31日（日）
 〈問い合わせ先〉安心ネットづくり促進協議会事務局 TEL 03-3562-8850

研究会情報

■ 第62回東京都小学校視聴覚教育研究大会

東京都小学校視聴覚教育研究会では、「生きる力を育む視聴覚教育の追究」をテーマに標記研究大会を開催する。

〈日時〉平成28年1月29日（金）13:30~16:30
 〈会場〉東京都江戸川区立第二葛西小学校（東京都江戸川区東葛西6-33-1）
 〈内容〉公開授業、全体会・パネルディスカッション 講師 鎌田和宏氏（帝京大学教授）。詳細は、下記を参照のこと。<http://teav.cside.com/>
 〈問い合わせ先〉東京都中野区立北原小学校長 武智直貴 TEL 03-3330-2411

■ 平成27年度ICT授業研究会「1人1台タブレット端末の教育的効果と運用上の課題」(第2年次)

千葉大学教育学部附属中学校では、標記テーマによる研究会を開催する。
 〈日時〉平成28年2月5日（金）13:40~16:30

〈会場〉千葉大学教育学部附属中学校（千葉市稲毛区弥生町1-33）
 〈内容〉公開授業、教科等分科会、全体会。各教科等定員35名にて、下記URLより、申込のこと。
<http://www.jr.chiba-u.jp/>

〈問い合わせ先〉千葉大学教育学部附属中学校 主幹教諭 三宅健次 TEL 043-290-2493

■ 平成26・27年度文京区タブレット端末を活用したICT教育モデル事業研究報告会

東京都文京区立湯島小学校では、「子供が自ら考え、判断し、表現する力の育成—ICTを活用した授業デザイン『湯島モデル』を通して—」をテーマに標記報告会を開催する。

〈日時〉平成28年2月17日（水）12:45~16:40
 〈会場〉東京都文京区立湯島小学校（東京都文京区湯島2-28-14）
 〈内容〉公開授業16学級、研究報告、指導講評 藤川大祐氏（千葉大学教授）。
 〈問い合わせ先〉東京都文京区立湯島小学校
 TEL 03-3818-6061

各地の情報

■ 第1回茨城県教育工学研究会

茨城大学教育学部学校教育教室は同学部附属教育実践総合センターの後援により、現場の教員とICTやメディア教育に関する研究会を立ち上げ、その第1回研究会を下記のように開催する。

〈日時〉平成28年2月6日（土）10:00~12:00
 〈会場〉茨城大学教育学部A棟（茨城県水戸市文京2-1-1）
 〈内容〉教員同士の「学び合い」を重視し、参加者の課題意識に基づき、実践内容やこれから取り組みたいこと、解決したいことについて、自由に議論する場とする。レポートや授業写真・ビデオなどの持参を推奨。学生・院生の参加も可。
 〈参加費〉100円（飲料代）
 〈問い合わせ先〉茨城大学教育学部学校教育教室 村野井 TEL 029-228-8309

■ 大阪市教育センターフォーラム2016「学び続ける熱意を！—共に学ぼう 共に育もう—」

大阪市教育センターでは標記フォーラムを開催する。
 〈日時〉平成28年1月30日（土）13:00~17:00
 〈会場〉大阪市教育センター（大阪市港区弁天1-1-6）

協会情報

第14回「全国こども科学映像祭」入賞作品発表

(一財)日本視聴覚教育協会、(公財)つくば科学万博記念財団、国立研究開発法人科学技術振興機構、(公財)ニューテクノロジー振興財団主催、文部科学省他後援による標記映像祭は、子どもたちの科学への関心を喚起し、カメラの目を通して科学の楽しさ、素晴らしさを理解させて、子どもたちの“科学する心”を育てることを目的とした、小・中学生が制作する科学ビデオのコンクールである。本年度は、平成27年11月3日に応募を締め切り、11月9日に開かれた審査委員会(審査委員長池本卯典氏(日本獣医生命科学大学学長)他6名)を経て、応募作品71作品(小学生部門39作品・中学生部門32作品)のうち、以下のように入賞作品が決定した(敬称略)。

◆文部科学大臣賞(最優秀作品賞)

○小学生部門「山にかかる雲と天気の関係パートⅡ 剣岳のレンズ雲」氷見優佳(富山県滑川市立寺家小学校4年)(写真1)

○中学生部門「青ヶ島の見え方の研究～古来からの島の伝承の真相を探る～」東京都八丈町立三原中学校サイエンス部・浦木勇瑠 他2名(写真2)

◆優秀作品賞

○小学生部門「光るキノコはなぜ光る？」八丈サイエンスクラブ(東京都八丈島町)・山下紗由季・佐々



写真1・文部科学大臣賞：小学生部門
「山にかかる雲と天気の関係パートⅡ 剣岳のレンズ雲」

木遥羽・川口虎生、「こっぱミジンコ？」栃四小ミジンコス(栃木県栃木市立栃木第四小学校5年8名)

○中学生部門「ビンから出る音の秘密」Bottle of science(秋田県由利本荘市立大内中学校科学部)、「なんとかしてヤンバルトサカヤステ」東京都八丈町立三原中学校サイエンス部・山路久麗々 他3名

◆佳作

○小学生部門「葉っぱは緑色」松井一真(大阪府・私立帝塚山学院小学校3年)、「モンシロチョウ」清水律(京都市立桃山小学校1年)

○中学生部門「海の宝石 ウニの秘密 パートV」内田桜綾(愛知県岡崎市立北中学校1年)、「筋交いってそんなに強い？」新香山中学校パソコン部20名(愛知県岡崎市立新香山中学校)

◆審査委員会特別賞

○《大胆な発想を科学的な視点から地道に検証しようとする姿勢に対して》小学生部門「古代の光通信」山口乃々華(福岡市立金武小学校5年)

○《長期にわたって一つのテーマを様々な角度から科学的に検証しようとする姿勢に対して》中学生部門「海の掃除機 アサリのカ パートVI」内田悠雅(愛知県岡崎市立北中学校2年)



写真2・文部科学大臣賞：中学生部門
「青ヶ島の見え方の研究～古来からの島の伝承の真相を探る～」

〈内容〉全体会「児童生徒のアクティブ・ラーニングを支える、デジタル思考ツールの活用」毛利靖氏(茨城県つくば市教育総務総合研究所副所長)、分科会「協働学習の授業デザイン」「ICT活用の実践」「アクティブ・ラーニング実践」他、展示・映像・体験等のコーナー等。

〈問い合わせ先〉大阪市教育センター指導研究グループ TEL 06-6572-0667

■ 第9回ICT活用授業研究会

和歌山大学教育学部附属小学校では、「情報活用能力の育成のためのICT活用―」(仮)をテーマに標記研究会を開催する。

〈日時〉平成28年1月29日(金)13:45～16:55
〈会場〉和歌山大学教育学部附属小学校(和歌山県和歌山市吹上1-4-1)

〈内容〉公開授業、協議会、講演会、全体講師

豊田充崇氏（和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター教授）。事前申込必要。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.aes.wakayama-u.ac.jp/>

〈問い合わせ先〉和歌山大学教育学部附属小学校
TEL 073-422-6105

■「学びをつなぐ力を高める授業」（3年次研究） 初等教育研究会

新潟大学教育学部附属新潟小学校では、国立教育政策研究所研究指定校として、標記研究会を開催する。

〈日時〉平成28年2月4日（木）・5日（金）8:50～16:15

〈会場〉新潟大学教育学部附属新潟小学校（新潟市中央区西大畑町5214）

〈内容〉公開授業、フォーラム、シンポジウム「次期学習指導要領で求められる授業づくり」。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.fuzoku-niigata.jp/>
〈問い合わせ先〉新潟大学教育学部附属新潟小学校 TEL 025-223-8321

■タブレット端末活用セミナー2016「学習指導要領改訂の動向とアクティブ・ラーニング」

（一社）日本教育情報化振興会では、大阪において標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成28年2月13日（土）12:50～16:55

〈会場〉ハービスHALL大阪（大阪市北区梅田2-5-25ハービスOSAKA B2F）

〈対象〉学校の教員、教育委員会、自治体職員。

〈内容〉特別講演「新学習指導要領で何が変わるか（仮）」小野賢志氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課専門官）、展望「協働的な学びとタブレット端末」中川一史氏（放送大学教授）、実践発表、ポスターセッション「学校で取り組む、タブレット端末活用」、パネルディスカッション「ICT環境と授業の質的転換」等。

〈問い合わせ先〉「タブレット端末活用セミナー」事務局 sky(株)内 TEL 06-4807-6374

■メディア教育シンポジウム「ICTの教育活用と高大連携」

名古屋文理大学では、ICT活用教育や新しい授業の可能性について幅広い実践報告を行い、情報交換の場として、標記シンポジウムを開催する。

〈日時〉平成28年2月6日（土）13:00～

〈会場〉名古屋文理大学FLOS館3F「FLOSホール」（愛知県稲沢市稲沢町前田365）

〈内容〉基調講演「世界最先端IT国家創造宣言の視点から、『ICTの教育利用』の行く末を考え

てみる。」伊藤一成氏（青山学院大学）、アクティブ・ラーニングの実践例、名古屋文理大学におけるiPad利用教育。

〈問い合わせ先〉日本データパシフィック(株)
シンポジウム担当係

MAIL apricot@datapacific.co.jp

コンクール情報

■「第57回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として、（公財）日本科学技術振興財団、（公社）映像文化製作者連盟、（公財）つくば科学万博記念財団の主催による標記映像祭では作品を募集している。

〈部門〉①自然・暮らし部門、②研究開発・教育部門、③科学技術教養部門

〈応募資格〉日本所在の製作者、企画者（スポンサー）、テレビ局、学術研究機関および個人が製作した作品、日本に所在を持たない場合でも、作品が日本国内で公開（放送、上映または販売）された作品は参加可。

〈募集要件〉上映時間は原則として90分以内。メディア・手法は、映画・ビデオ、テレビ番組、アニメーション、CG、インタラクティブWeb動画、モバイル等。
〈出品作品の形態〉DVDまたはBlu-ray、インタラクティブWeb動画等はDVDまたはCD-ROMを原則。詳細は下記を参照のこと。

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

〈賞〉内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞各部門1作品、他。

〈締切〉平成28年1月25日（月）必着。

〈問い合わせ先〉（公社）映像文化製作者連盟「科学技術映像祭」係 TEL 03-3662-0236

文部科学省選定作品

■11月選定

〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD／〔映〕映画

「ちいさいおなべ」〔紙〕8枚（幼稚園、幼児／幼児、教養）（株）童心社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm